

附属中だより



令和4年1月
第11号

新しい年は、あいにく大雪の翌日が登校開始日となりました。路面の凍結や交通の乱れにより遅れてきたり登校できなかったりする生徒がいる中でのスタートとなりました。

翌8日は中学校の入学選抜、採点等で11日まで生徒休業のため、本格的な始動は12日。会わなかった期間は20日足らずですが、背が伸びていたり、顔つきが大人っぽくなっていたり、久しぶりに会うと生徒の成長を実感できます。

附属中の1月は、入学選抜の関係で自宅学習の日も多くなりますが、新年の抱負をオンラインで共有し、互いに刺激し合いながら学習に臨んでいます。

今年の4月にはいよいよ3学年が揃っての学校生活が始まります。それまでに、学習はもちろんのこと、それぞれの興味のあることに打ち込み力を発揮できる土壌を、生徒と教師が一丸となってつくっていききたいと思います。

創造アイデアロボットコンテスト全国大会

計測・制御部門 優勝！

チーム：飛竜 2年 浅野 泰雅さん 鈴木 悠心さん 谷川 友太さん

ベスト8

チーム：SHAKURA 2年 中村 優乃助さん 福澤 慶太さん



大会が終わりロボットを手に笑顔のメンバー

(左から 飛竜：鈴木さん 谷川さん 浅野さん

SHAKURA：中村さん 福澤さん)

12月にお知らせしたとおり、関東甲信越代表として創造アイデアロボットコンテスト全国大会制御・計測部門に2チームが出場しました。

自己ベストを更新しての全国大会出場でしたが、メンバーの5人はそれに満足することなく、ロボットやプログラムの改良を止めることはありませんでした。ちょっとしたパーツを交換しただけでロボットのバランスが崩れたり、プログラムの変更でロボットが暴走したりと試行錯誤の連続でした。入試の関係で冬休みや週末の練習もままならない状況でも、メンバーもロボットも進化を続けました。

1月22日(土)の全国大会は、新型コロナウイルス再拡大の影響によりオンラインでの開催となりました。県大会、関東甲信越大会とは異なり、今大会はトーナメント

戦。相手チームより1点でも多く得点しないと即敗退です。各地区の代表はいずれも全国大会の常連校。初出場の本校は1試合目から厳しい戦いが予想されましたが、1試合目は両チームとも大差での勝利。この勢いで順調に勝ち進みたいところでした。しかし、SHAKURAの2



SHAKURAのロボット「ともこ」

試合目の相手は全国に名をとどろかす兵庫の関西学院中等部。関西学院の1試合目の様子を見ると、SHAKURAがいつも通りの力を発揮すれば勝利できそうです。出場チームのほとんどは、コースに障害物を置かずに行進する直進タイプのロボットですが、SHAKURAは障害物を回避してポイントを稼ぐプログラムでコース上を右へ左へとめまろしく動くロボットです。試合直前の練習では70点という記録を出し、スタートのコールとともに順調な滑り出し……と思いきや、プログラムのトラブルでロボットが思うように動きません。結果、1試合目の63点から22点と3分の1ほどしか得点できず、残念ながらベスト8で終了となりました。勝利していれば竜一対決の可能性があったのですがそれはかなわず、飛竜のメンバーにあとを託します。

一方の飛竜は直進タイプのロボットです。スピードと安定性を武器に3試合目に順調に勝ち上がりました。3試合目は、SHAKURAを破った関西学院中等部。滑り出しこそ順調だったものの、緊張からかフアールやリトライが出始めます。しかし、その後はさすがの安定感。審判がポイントのカウントを間違えてしまうほどのスピードで得点を重ねての勝利。SHAKURAの借りを返します。そして決勝。相手は関東甲信越大会で優勝している神奈川県金旭中学校。関東甲信越大会では金旭中学校の圧倒的なスピードにかないませんでしたが、飛竜のロボットもスピードでは引けをとらないロボットに成長しています。心配と言えば、本番直前の練習でロボットが急に停止するというトラブルがあったこと。会場にいる全員がトラブルが起きないことを祈りつつ、いよいよスタートです。ロボットと人間の息がぴったりと合い、これまでにない得点が出そうな勢いです。タイムアップで得点を確認するとなんと自己ベスト更新の91点。オンラインでつながった大会本部からもどよめき起きる高得点で、計測・制御部門優勝となりました。



飛竜のロボット「剛力丸」

両チームとも「まずは県大会に出場してみよう。」というところから10月にスタートしました。部活や学習の合間をぬっての活動であったため、授業や部活動として活動しているチームに勝てるとはこれっぽっちも思っていませんでした。その無欲さと自分たちのロボットにひたすら向き合う姿がこの結果につながったのかもしれませんが。

最後に、メンバーのコメントをご紹介します。

浅野 泰雅さん

楽しく助け合いながらできたので良かったと思います。支えてくれた人たちや、応援してくれた皆さんありがとうございました！

鈴木 悠心さん

3ヶ月の期間で、今回のような良い結果を残せたのは、自分だけの力ではなく、周りの方々や、チームの人がいてこそこの結果だと思うので、嬉しさと感謝でいっぱいです。

谷川 友太さん

飛竜もSHAKURAも、多くの人に支えていただいたから、いい結果を残せたと思います。支えていただいた方に感謝したいです。

中村 優乃助さん

今回、初出場で3ヶ月という短い準備期間にも関わらず、このような良い結果を残せたことに自分でもびっくりしています。支えてくださった皆様には感謝しかありません。

福澤 慶太さん

チームメイトと協力しながら初めての出場です素晴らしい結果を残せたことがとても嬉しく思

います。

小学校の先生方へ

1月8日（土）の令和4年度入学者選抜が無事終了いたしました。当日は晴天に恵まれ、降雪の影響もほとんどありませんでした。感染症対策のために常時窓を開けて換気をしていましたが、あまり寒さを感じることなく入学者選抜を実施することができました。

1月19日（水）の合格者発表を受け、合格者は1月24日（月）までに「入学確約書」の提出、その後、小学校、教育委員会での手続きとなります。先生方にはお手数をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

お問合せ 0297-62-2146
(竜ヶ崎一高附属中 教頭 内川)